

前高OBの大学生による「TA(Teaching Assistant) 指導会」を実施！

9月6日、13日に「TA指導会」と銘打って、本校OBの現役大学生に20名程度協力をお願いし、1年生が行っている「課題研究」に対して、指導・助言をしてもらいました。2週にまたがって、全てのグループ、全ての生徒が指導を受けることができ、改めて自分達の活動を見つめ直す機会となりました。ちなみに、TAを務めてくれたOBの在籍校は、京都大学、筑波大学・大学院、群馬大学、中央大学、東京学芸大学、等々。中にはこの指導会のためにわざわざ群馬まで帰ってきてくれたOBもいて、大変有難い限りです。医学部や理工学部等の理系学部を中心に、法学部や教育学部の学生も協力して、テーマに応じた指導を熱心してくれました。今号では、まだまだ経験も知識も足りない高校生にとって大変有意義な時間となったこの指導会を終えての感想を、一部ですが紹介します。

TA指導を受けた生徒の感想

- 大学生の豊富な知識から、今まで見えていなかった課題も見えてきた。先輩方に感謝しつつ、意見を踏まえた上で進めていきたい。
- 実験のやり方や実験する題材を褒めて頂いたことが、今まで試行錯誤してきた自分達にとってとても嬉しかったし、やる気にもつながった。
- 自分達が話し合った中で出ていた心配な点について詳しく助言を頂けたのが今後に向け心強かった。
- 研究の内容、方法だけでなく、引用の仕方、伝え方など、自分の思っていないことを指摘され、すぐくためになった。
- 物の見方に対して、未だ甘かったと認識させられた。発展的な考え方というもできていなかったの、これを機に気持ちを入れ直して調査や実験に挑んでいきたいと思う。
- 自分達の考えの浅はかさを感じ知らされた。もう一度研究テーマについて熟考してみる必要があると思った。
- 以前から進路等の面で大学生から話を聞くことはあったが、研究のことなどで話を聞くのは新鮮だった。貴重な時間を有意義に使えたと思う。

等々、探究学習についての助言は勿論、様々な面で刺激をもらい、大いに意欲に換えた様子でした。早速指導の後から、自分達の研究を見直すとするグループも見られました。

指導を終えたTAより

- 知識や経験はまだ不足しているが、非常に意欲的で熱心に話を聞いてくれ、やりがいがあった。
- 知識も研究もまだまだ途上といった所。ただ、いくつか鋭い質問もあり、さすがとも感じた。
- 専門的な知識を有する1年生も多く、驚いた。
- 抽象的で、検証の難しいテーマが散見された。科学的視点をどの程度入れられるかが鍵だと伝えた。
- 実証可能な範囲や、手に負えるテーマというのがまだ見えていないようだったので、これからの研究の中で良い経験になるのではと思う。
- 後輩のためになるならばまた来年も参加したい。

今回協力頂いた卒業生の皆さん、忙しい中快く引き受けてくださり本当に有難うございました。前橋高校として、皆さんのような卒業生が多くいてくれることを本当に心強く思います。

また各大学、各方面における、今後の皆さんのご活躍を、前橋高校一同心から期待しています。

